

まちのมาสコット

清水希容子

財団法人日本経済研究所 地域未来研究センター 上席主任研究員

いま、「ゆるキャラ」が全国で人気を集め、地域を明るく元気になっている。

これまでキャラクターと言えば、ミッキーマウスやキティちゃんがすぐに思い浮かぶ。企業のシンボルとして菓子メーカーのペコちゃんも有名。国体や植樹祭のイベントごとに、警察、清掃局、水道局のキャンペーンに独自のมาสコットが設けられた。

滋賀県彦根市の「ひこにゃん」（2006年誕生）を皮切りに、奈良県の「せんとくん」や秋田県の「スギッチ」など次々と全国区になった。従来は観光PRやイベントごとのお定まりのシンボル、着ぐるみ姿で会場の片隅に立つ程度の存在が、いまや「地域の顔」として主役に躍り出た。地域自体を表現し連想させる類いは、全く新しいアイデアだ。

静岡県「ふじっぴー」では富士山、高知県「くろしおくん」では波の自然現象、長野県原村「セロリン」では特産品のセロリに手足がつく。熊本市「ひごまる」の熊本城や高岡市の「利長くん」のような歴史上の建物や人物まである。森羅万象から創作し、ひいてはアニメ化する日本人の感性の豊かさが、地域の底力を引き出している。

「ひこにゃん」は、外国人観光客から握手攻めにあう。兜を指して「What is this?」と尋ねられると、「江戸時代、彦根藩主の井伊直弼の……」と地元の歴史から語り始めれば自然と会話がはずむ。名前には、「にゃん」「ぴー」「くん」「たん」などの幼児のような可愛らしい語尾がつく。ゆるい感じの中に、人々が自分の思いを込めやすい、癒しを感じるという共通点があり、今の時代が求めているものかもしれない。

埼玉県羽生市の「ムジナもん」（2003年誕生）は、市役所の若手有志の手でつくられ、地域の人々

と共に育った。市内に生息する天然記念物の食虫植物「ムジナモ」と、この地域に言い伝えられる妖怪「むじな」に因んだ。タヌキともネズミともとれる謎めいた風貌で、特産品モロヘイヤの葉を頭に斜に乗せ、尻尾はムジナモの花（写真参照）。性格はやんちゃで、伝統品の藍染の柔道着を着て、田山花袋の小説：田舎教師に化ける「羽生七変化」を特技とする。携帯ストラップ、シャープペン、シールなどのグッズ、絵本、四コマまんが集、食育をテーマにした紙芝居なども開発された。

市に手軽に申請するだけで、だれでも「ムジナもん」を無料で使用できる。この2年間で、300件もの申請があった。大判焼きやせんべいの焼印に、エコバックやハンカチのデザインに利用して売上増にもつながったという。市民の寄付金で製作された着ぐるみは、一日千円で貸し出しされ、年間約130回活躍する。作詞・作曲はじめ体育課の同僚と協力しながら創った「ムジナもん体操」を、市内の幼稚園児や小学生が、着ぐるみの「ムジナもん」と一緒に楽しんでいる。

育ての親、羽生市キャラクターグッズ検討会の根岸啓之さんは、「ムジナもんを通して、子供の頃から羽生のまちを好きになり、まちに関心をもつ。だれでも気軽にまちづくりに参加しやすい雰囲気が生まれてきた。」と存在意義の大きさを語ってくれた。

小さな“มาสコット”は、偉大なまちのヒーロー。いつしか、暮す人々のこのろの中に棲みついた新しい家族の一員となる。

【お知らせ】

当研究所のホームページ：「地域データ図書館」の新しい棚として、『地図の玉手箱』がスタートしました。地域への誇りが、いろいろな日本地図に。



埼玉県羽生市の「ムジナもん」
(左、右は「いがまんちゃん」)

ご当地の”ゆるキャラ”



長野県原村の「セロリン」
(中央)



熊本市の「ひごまる」

- 新潟:** るんるん(長岡市越路町)、おぐりん(長岡市小国町)、ナッチャン(長岡市)、トッキッキ(新潟県)、けんしんくん(上越市)
- 青森:** いかずきんズ(八戸市)、もちちゃん(百石町)、たか丸くん(弘前市)
- 北海道:** うにまる(奥尻町)、夕張夫妻(夕張市)、たら丸&べに子(岩内町)、出汁之介(稚内市)、えべちゅん(江別市)、ミミ太&ミミちゃん(砂原町)、どんちゃん(更別村)
- 富山:** ムズムズくん(射水市)、メルギューくん(小矢部市)、利長くん(高岡町)、ゆず太&ゆず香(庄川町)
- 山形:** ゆきごろう(尾去沢市)、かねたん(米沢市)、桃色ウサヒ(朝日町)
- 岩手:** しずくちゃん(雫石町)、若さま弁くん(奥州市・平泉町)、カリンちゃん(遠野市)、ヒエボン(軽米町)、かまりん(釜石市)
- 石川:** のとドン(石川県)
- 福井:** うみりん(おおい町)、赤ふん坊や(高浜町)、ちかもんくん(鯖江市)、ツナガ君(敦賀市)、さばトラななちゃん(小浜市)、へしこちゃん(美浜町)
- 宮城:** むすび丸(宮城県)、海の子ボヤボーヤ(気仙沼市)、活平くん(色麻町)
- 京都:** 蘭の妖精 ララン(大山崎町)、コッペちゃん(丹後町)、さくらちゃん(南丹市)、へしこちゃん(美浜町)
- 福島:** ホタッピー(桑折町)、ももりん(福島市)、あかべえ(会津若松市)、キビタン(福島県)
- 鳥取:** トリピー(鳥取県)、ヨネギーズ(米子市)、ピアート(鳥取県)
- 長野:** いいちゃん(飯島町)、福ちゃん(木曾町)、イーナちゃん(伊那市)、たりたり(小谷村)、セロリン(原村)、アルプちゃん(松本市)、元気くん(豊科町)
- 群馬:** ぼんちゃん(館林市)、ゆうまちゃん(群馬県)、ぐんまちゃん(群馬県)
- 島根:** あらエッサくん(安来市)、あっぱれくん(松江市)、しまねっこ(島根県)
- 茨城:** ハッスル黄門(茨城県)、ツクツク(つくば市)
- 岡山:** ミコロ、ハコロ(岡山市)、ももっち(岡山県)、ひめっこ(新庄村)
- 栃木:** ミヤリー(宇都宮市)、ひまわりサンちゃん(野木町)、ポッポちゃん(矢板市)、与一くん(大田原市)、さくらっぴー(さくら市)
- 広島:** ヒバゴン(西城町)、ブンカッキー(広島県)
- 埼玉:** ムジナもん(羽生市)、ときも(川越市)、かいちゃん(三郷市)、ハッピーこまちゃん(八潮市)、コバトン(埼玉県)、さやりん(狭山市)、アッピー(上尾市)、こいのぼりん(加須市)、彩夏ちゃん(朝霞市)、つなが竜ヌウ(さいたま市)、ワラビーくん(蕨市)
- 山口:** カッタくん(宇部市)
- 愛知:** こきんちゃん(小倉井市)、こまつきー(小牧市)、藤花ちゃん(江南市)、せとちゃん(瀬戸市)、アダチン(足立区)、としぼう(豊島区)、なみすけ(杉並区)、あなどれくん(町田市)
- 福岡:** ニッコりん(福岡市城南区)、くぼてん君(豊前市)、じーも(北九州市門司市)
- 山梨:** 吉田のうどんぶりちゃん(富士吉田市)
- 佐賀:** 唐ワンくん、とっとちゃん(鳥栖市)、俵マイちゃん(佐賀市)、おしくらマン(武雄市)
- 千葉:** なし坊ファミリー(白井市)、ちはなちゃん(千葉市)、とみちゃん(富里市)、ドラム(栄町)、チーバくん(千葉県)
- 長崎:** ろくべえ(対馬市)、さるくちゃん(長崎県)、ちかまるくん(小値賀町)
- 奈良:** まんとくん(奈良県)、左近くん(平群町)、せんとくん(奈良県)、カッキー(五条市)、蓮花ちゃん(葛城市)、パゴちゃん(斑鳩町)、たつたひめ(美郷町)
- 神奈川:** いそっぴ(横浜市磯子区)、みなっち(横浜市南区)、にしまろちゃん(横浜市西区)、かめ太郎(横浜市神奈川区)
- 熊本:** ひごまる(熊本市)、タバル君とコマチ姫(植木町)、清正くん(熊本県)、ASO坊健太くん(熊本県)、からいもくん(大津町)
- 三重:** 藤堂とらまる(津市)、なばりのナッキー(名張市)、にん太・しのぶ(伊賀市)、いが☆グリオ(伊賀市)、こにゅうどうくん(四日市市)
- 静岡:** あおいくん(静岡市葵区)、ふじっぴー(静岡県)、KAN-CHAN NAMI-CHAN(函南町)
- 大分:** めじろん(大分県)、ホタッピー(佐伯市)、かぼたん(大分県)、あ！官兵衛(大津市)
- 和歌山:** そうへいちゃん(岩出市)、キノビー(和歌山)、たなべえ(田辺市)
- 宮崎:** たか鍋大使くん(高鍋市)
- 徳島:** はやとくん&カンナちゃん(隼人町)、つるのしん(出水市)、さくらじまん(鹿児島県)、宙太くん(南種子町)
- 香川:** こんぴーくん(琴平町)
- 愛媛:** たまこちゃん&吉田くん(宇和島市)、げんきくん(西予市)
- 高知:** ころしおくん(高知県)
- 兵庫:** ぼっくりん(高砂市)、加東伝の助(加東市)、はばタン(兵庫県)、しーたん(宍粟市)、なあたん(神戸市長田区)、まるいの(篠山市)、きんたくん(川西市)
- 岐阜:** うながつぱ(多治見市)、ららら(各務原市)、ねぎっちょ(岐南町)、つつちーのこりん(東白川村)、かきまるくん(笠松町)、うーたん(岐阜市)
- 徳島:** しまんとしーちゃん(西土佐村)、すだちくん(徳島県)
- 大阪:** はちかずきちゃん(寝屋川市)、ふくまるくん(池田市)、あべのん(大阪市阿倍野区)、くらわんこ(枚方市)、サカエ・みそさかい(堺市堺区)
- 鹿児島:** こんちゃんマン(沖縄県)、スイカマン(今帰仁村)



「ムジナもん」関連グッズ

*各種資料をもとに財団法人日本経済研究所にて作成。
*当地図は、地域未来研究センター「地域データ図書館」のホームページにて拡大してご覧になれます。